

ボランティアの皆様へ

～『にこにこ』を活用して楽しい活動を創るために～

『にこにこ』は、少人数グループ（3～5人ぐらい）での「対話型」の日本語活動を行うために作成された教材です。この教材を最大限に活用していただけるよう、いくつか留意点を述べておきます。

■対話型活動をうまく進めるために

- ◇一緒に学びましょう。「日本語を教えなければ、何かを教えなければ」と思うのではなく、「日本語での活動を一緒に楽しむ」という意識を持ちましょう。
- ◇やさしい日本語で話しましょう。易しい言い方に置き換えたり、短い文で言ったり、また、ゆっくりはっきり話すことで、お互いに理解し合えるように努力しましょう。
- ◇聞き上手になりましょう。学習者が考えていたら、できるだけ待ちましょう。学習者が話しているときは相槌を打ったりうなずいたりしながら聞き、学習者の発話を妨げないようにしましょう。学習者の言いたいことを先取りして話したり、自分だけが話しすぎたりしていないか、時々振り返ってみてください。
学習者の日本語が間違っていたら、直ちに直すのではなく、話が一通り終わってから、正しい言い方を示してあげるといいでしょう。
- ◇複数のボランティアが参加している場合は、マンツーマンでの活動や、グループ内で完全に分かれての活動にならないようにしてください。グループ活動の良さを生かしたやり方を工夫しましょう。
- ◇グループ内で学習者のレベルに差がある場合は、基本的には一番下の学習者に合わせて活動するとうまくいくことが多いです。複数のボランティアがいれば必要な場面でフォローに入ることもできます。

■『にこにこ』をうまく活用するために

- ◇『にこにこ』は日本語のテキストではなく、活動集です。学習者の発話を促し、グループのメンバー同士が対話を楽しむための素材を提供しています。書いてあることをきっかけにして、どんどんおしゃべりをしてください。

◇1つのユニットはおおよそ**90分の活動時間**を想定し、1つの流れ・まとまりがありますので、1回の活動で終えることで活動目標が達成できます。しかし、学習者の日本語レベルや、話の盛り上がったトピックなどによって、扱わない項目があってもかまいませんし、2回に分けてやってもかまいません。1回の活動で1ユニットを全部やるのが目標ではありません。臨機応変に対応してください。

◇活動の導入のための「**読み物**」が載っているユニットがあります。これは文字通り、導入——その活動のテーマに興味や関心を持ってもらうためのもので、ボランティアが読んで聞かせる、学習者に読んでもらう、ペアで読み合うなどして**内容を理解**してもらいます。ここで文型や文法の説明はしないでください。学習者から質問があれば答える程度にします。

◇『にこにこ』の文章のレベルや内容は**おおよそ初級後半レベル**になっています。学習者のレベルに合わせて、副教材（実物や絵、翻訳など）を準備していただくと、より活動がスムーズに進むでしょう。特に、かなり話せる学習者の場合、教材の内容がすぐに理解できて、それで満足してしまいがちですので、例えば読み物に代わる関連資料を準備するなど工夫していただければ、学習者の日本語力も満足感もアップすると思います。

◇活動の前に必ず「**活動の手引き**」をお読みください。すべて手引き通りにやる必要はありませんが、大切なポイントはぜひ押さえて活動してください。手引きの**参**（参考）はボランティアのための参考情報で、学習者に伝えたり、教えたりするものではありません。また、教材に書いてある質問に対する答えの「例」が記載されている場合がありますが、これは学習者から意見や答えが出なかった時のためのヒントです。ボランティアが先に提示したり説明しないでください。学習者から意見を引き出すための手助けにしてください。

教材作成チームの一番の願いは、**笑顔で楽しく活動してもらえること**です。
ボランティアの方々も、学習者の方々も、みんなが笑顔で、「楽しかった、
また来週ここへ来よう」と思えるような教室になるよう、願っています。

2015年3月

『にこにこ』教材作成チーム一同